

桜花賞

昨年に近い高速決着を想定。

昨年はトップスピード勝負に強い血と
スプリント戦の流れにも乗れる血を兼ね備えたソダシが 1 着。

8 人気 3 着のファイナルージュも母は高速決着と
スプリントの流れに強い馬で、父はディープ系。

2 着サトノレイナスは、スプリント要素は薄いものの、
母父が米国型のディープ産駒。トップスピードは最高レベルの血統。

本命はナムラクレア。

父はマイル G1 の NHK マイル、マイル CS を優勝。
スプリント G1 の高松宮記念、スプリンターズ S でも連対。
スプリンター寄りのマイラー。

父は、現役時代に 2 歳で 1 分 32 秒 3 のレコードタイムを樹立。
桜花賞で重要な体力の完成の早さとマイルでの強さを兼ね備えた馬。

母系も超 G1 級。
母父はストームキャット。
スピード勝負に強い世界レベルの種牡馬。

4 代母のクドフォリーも世界的名種牡馬マキャベリアンの母。

ノーザンダンサー、サンデーサイレンスの父ハイローなど
歴史的な名種牡馬の基礎牝系でもあるアルマームードのファミリー。
スピードとスケールを強化する牝系。

フィリーズレビューで 1 人気に支持されて連対した馬は
過去 10 年で 4 頭出走。3 頭が馬券に。

馬券になった3頭は前年の阪神 JF で5着以内。
唯一馬券にならなかったクイーンズリングは阪神 JF 未出走。
阪神 JF からフィリーズレビューのステップは、実は有利。

今回は前走と同じように乗れば、
おそらく有利なインの好位でスムーズに追走できるでしょう。

対抗はアルーリングウェイ。

サンデー系×ヴァイスリージェント系は
根幹距離の高速決着でニックス配合。

先週大阪杯の1、2着馬もこの配合。

土曜阪神重賞の勝ち馬メイショウミモザは
父にハーツクライで母父フレンチデピュティ。

アルーリングウェイも父父ハーツクライ。母父フレンチデピュティ。

祖母は芝短距離重賞勝ち馬。
母も芝短距離馬。母系には高速決着に強いファピアノも。
父がサンデー系であれば、母系は速ければ速いほど当レースに向きます。

サークルオブライフは叩き上昇型。
母は芝短距離馬。母系にはタイキシャトルとストームキャット。

ナミュールも母が芝短距離馬。
母系にフレンチデピュティ。祖母は桜花賞馬。

ナミュールもサークルオブライフも
トップスピード勝負には対応するはずですが、
スプリント指向の流れに関しては、適性で上回る馬が他にいるメンバー。

外を回る物理的不利もありますので、
ナムラクレア、アルーリングウェイよりは下の評価とします。

血統だけならパーソナルハイもぴったり。

母が米国指向強い血統のディーブ産駒。
芝短距離適性を強化するインリアリティのクロスを持ち、
母系には芝短距離の名血シーキングザゴールド。
逃げて一変にも託していいオッズ。